



2022年8月期  
第3四半期 連結決算説明資料

*ktk* ケイティケイ 株式会社  
代表取締役社長 青山 英生

東証スタンダード/名証メイン 証券コード:3035

1	2022年8月期 第3四半期 決算概況	2
2	参考資料	12

# 1 2022年8月期第3四半期 決算概況

---

当第3四半期会計期間は、原材料高騰などの影響はあるものの、売上総利益が改善し、予想に対する利益の進捗も上向く

- ・中期経営計画“Growth Plan”の重点施策への取り組みを継続
- ・サプライ事業では、一部仕入商品の価格改定により利益率改善に貢献、環境衛生商品も堅調に推移
- ・ITソリューション事業では、半導体不足の影響はあるものの、高付加価値案件に注力

(百万円)

	2021年8月期 第3四半期累計		2022年8月期 第3四半期累計	収益認識会計基準 適用の影響額(※)
売上高	13,063	売上高	12,852	▲68
営業利益	436	営業利益	324	▲57
経常利益	461	経常利益	394	▲3

※2022年8月期第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日以降「収益認識会計基準」という)を適用しているため、当第3四半期に係る各数値については、当該会計基準を適用した後の数値となっております ⇒ 収益認識会計基準のご説明 P19

# 2022年8月期 第3四半期累計 決算概況

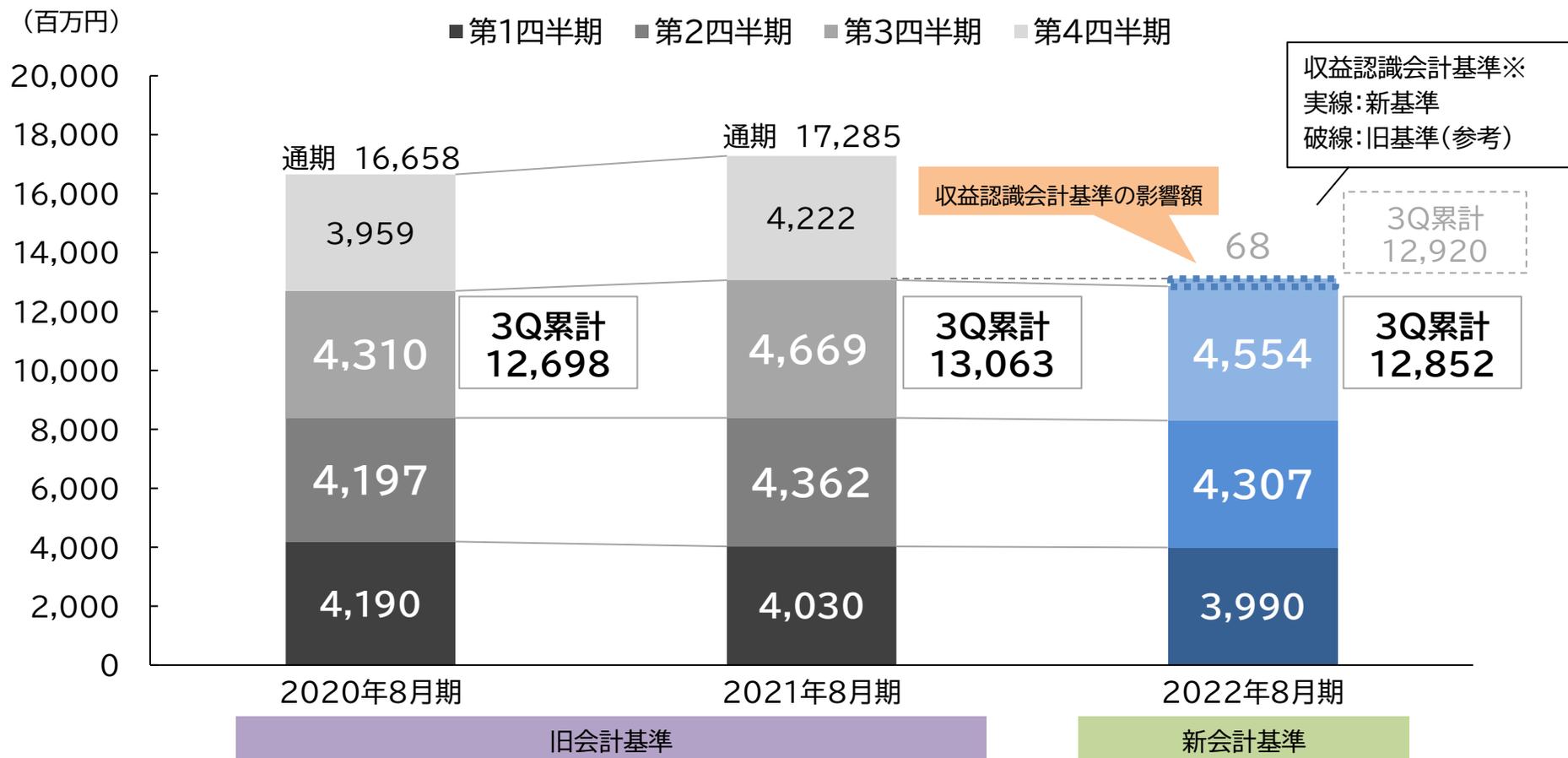
(百万円)

	2021年8月期		2022年8月期			
	第3四半期	通期	第3四半期	前期比	通期予想	進捗率
売上高	13,063	17,285	12,852	— %	17,310	74.2%
売上総利益	2,793	3,674	2,728	— %	—	— %
営業利益	436	448	324	— %	390	83.3%
経常利益	461	479	394	— %	490	80.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	329	333	255	— %	325	78.5%
1株当たり 四半期純利益	円銭 61.36	円銭 62.04	円銭 47.39	— %	円銭 60.33	

2022年8月期第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識会計基準」を適用しているため当第3四半期に係る各数値については、当該会計基準を適用した後の数値となっております。この結果、前第3四半期連結累計期間と収益の会計処理が異なることから、前期比については記載しておりません。  
⇒ 収益認識会計基準のご説明 P19

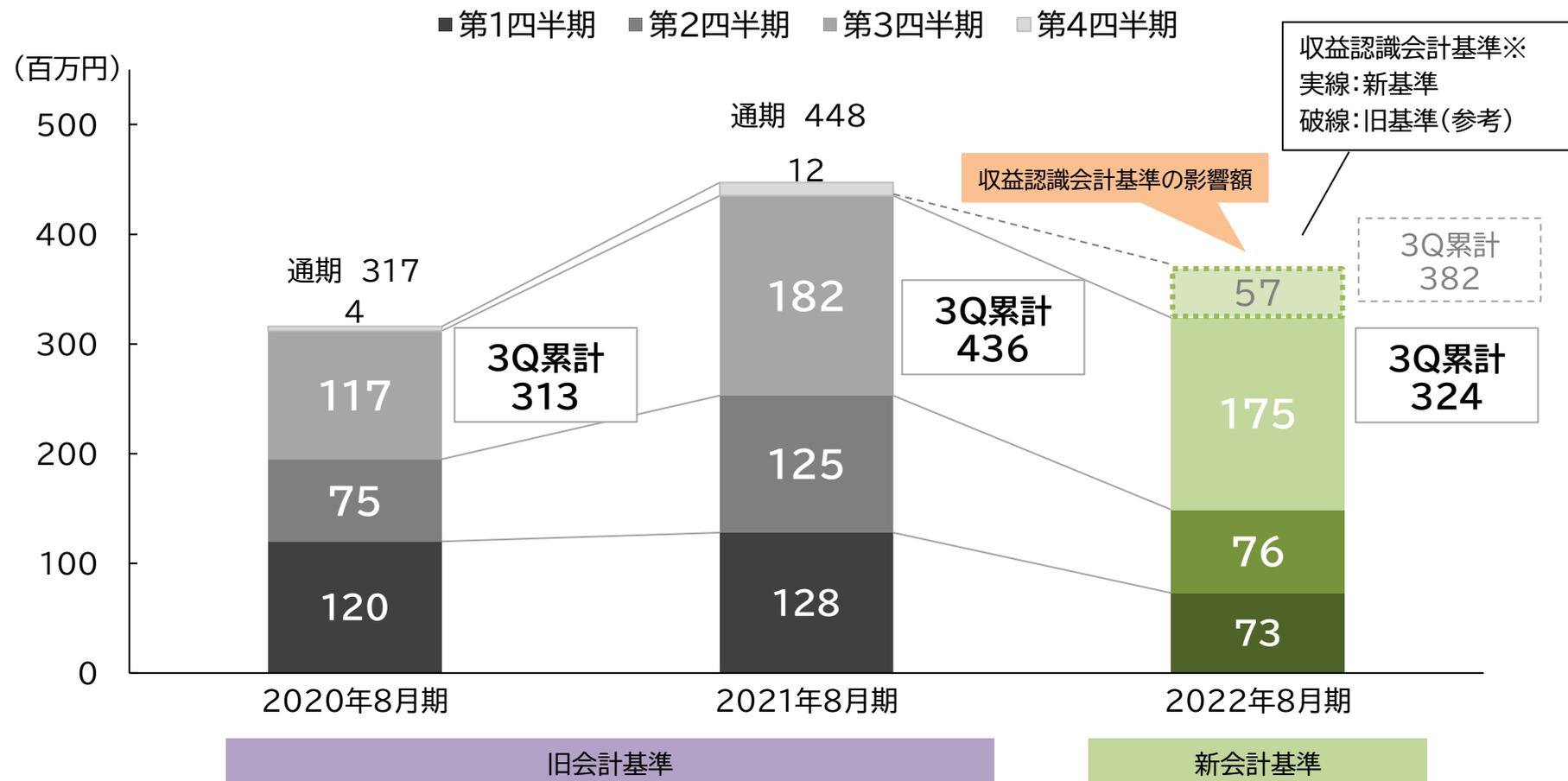
# 四半期毎の売上高の推移

一部IT関連商品などの供給面に制約があり微減

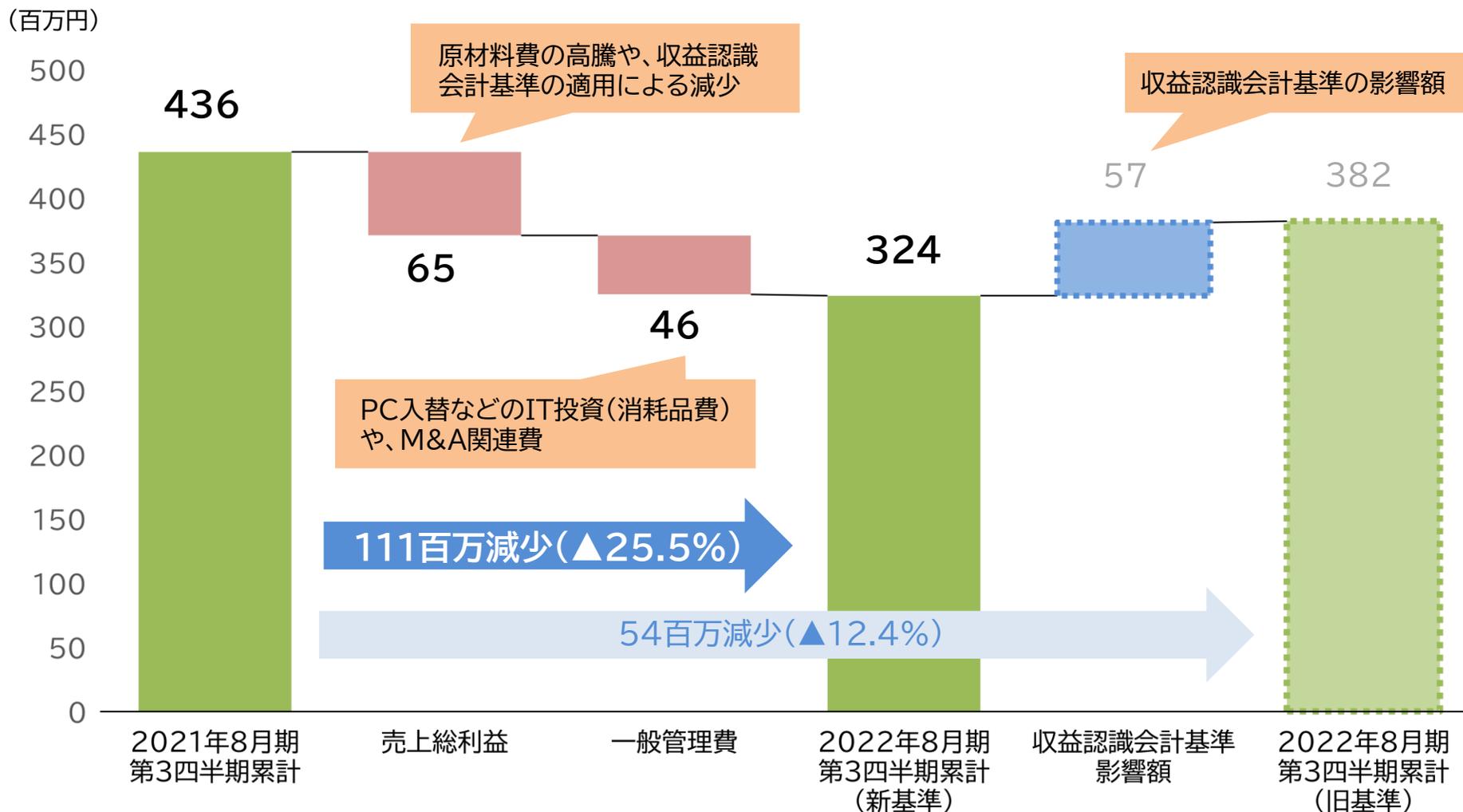


※ 2022年8月期第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準を適用しております。本頁においては同じ基準で比較するため、当第3四半期の売上高を新基準で表示後、旧会計基準で仮に算出した結果を破線で記載しております  
⇒ 収益認識会計基準のご説明 P19

M&A関連費などの影響があるものの、一部仕入商品の価格改定や高利益率のITソリューション案件の獲得などにより、当第3四半期会計期間は、前年同四半期会計期間と同等まで回復



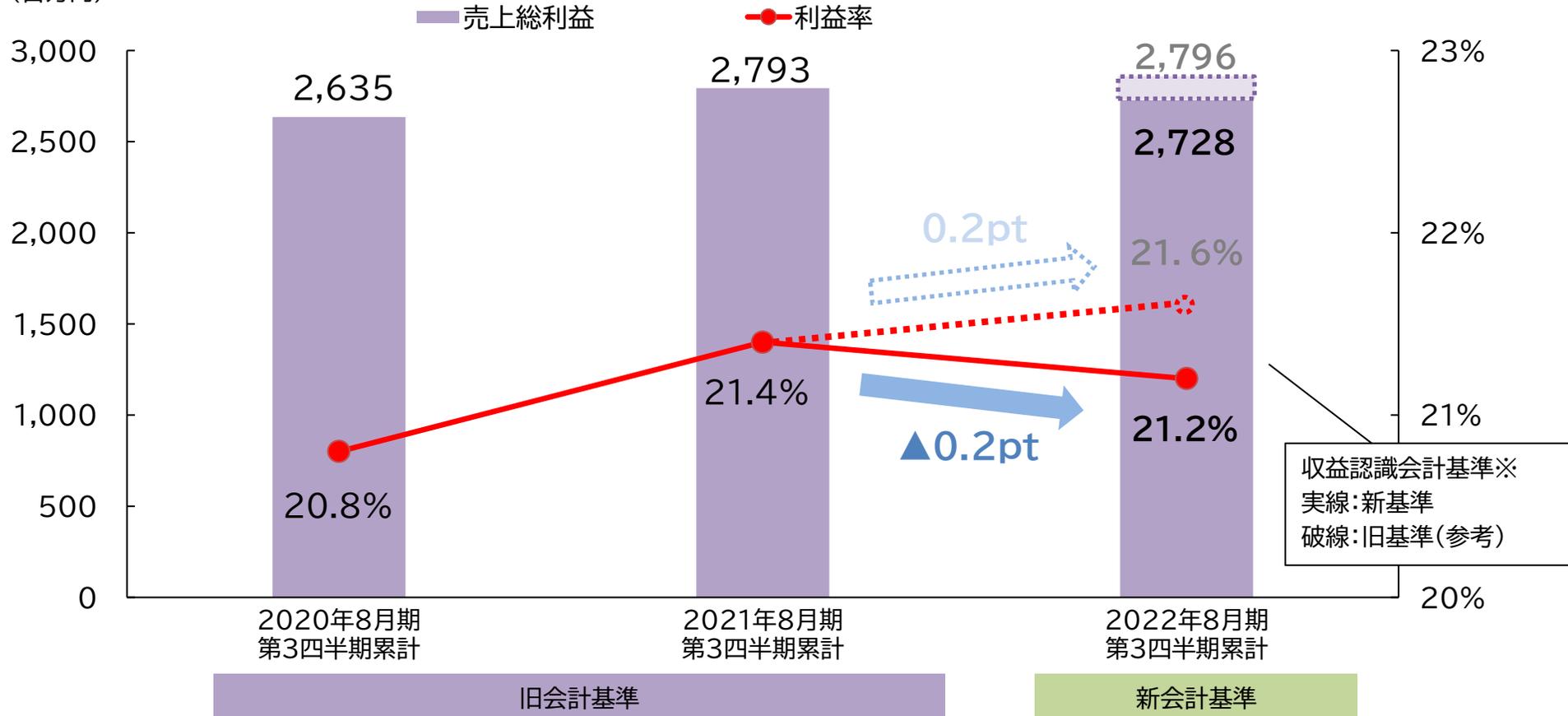
※ 2022年8月期第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準を適用しております。本頁においては同じ基準で比較するため、当第3四半期の営業利益を新基準で表示後、旧会計基準で仮に算出した結果を破線で記載しております  
⇒ 収益認識会計基準のご説明 P19



※ 2022年8月期第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準を適用しております。本頁においては同じ基準で比較するため、当第3四半期の営業利益を新基準で表示後、旧会計基準で仮に算出した結果を破線で記載しております  
⇒ 収益認識会計基準のご説明 P19

原材料費や仕入原価が高騰する中、一部仕入商品の価格改定、高利益率のITソリューション案件の獲得などにより、前年同四半期累計期間比でほぼ横ばいにまで回復

(百万円)



※ 2022年8月期第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準を適用しております。本頁においては同じ基準で比較するため、当第3四半期の売上総利益を新基準で表示後、旧会計基準で仮に算出した結果を破線で記載しております  
⇒ 収益認識会計基準のご説明 P19

新型コロナウイルス対策の環境衛生商品やリサイクル製品が堅調に推移したほか、一部仕入商品の値上げに対し、すみやかな価格改定に努め、売上高と利益の改善に貢献

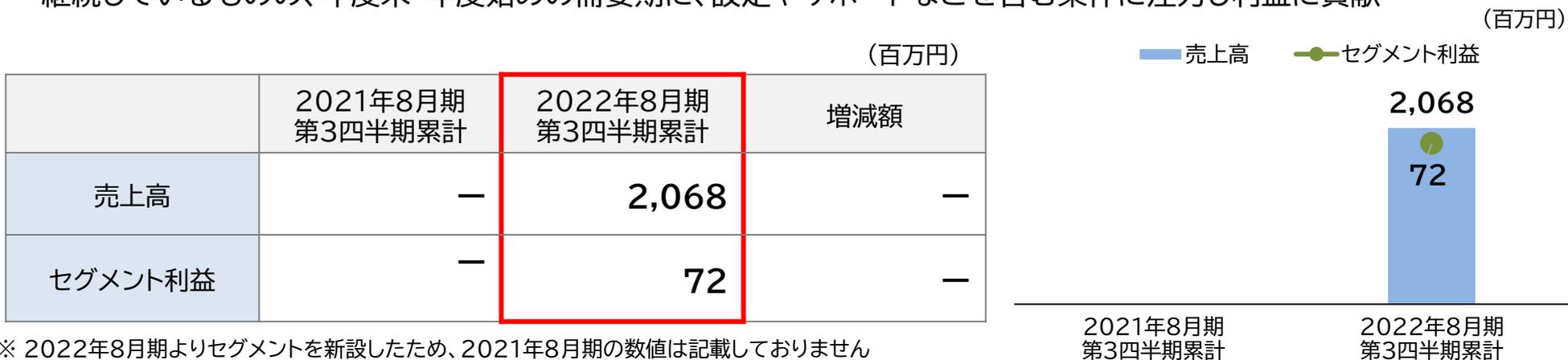


※ 2022年8月期よりセグメントを新設したため、2021年8月期の数値は記載していません  
 ※ セグメントに帰属しない全社費用(主に一般管理費、393百万円)は、セグメントに配賦していません

## 重点施策とその取り組み

- ・ 原材料費の高騰に対して生産性向上などによる製造原価削減を継続 並行して販売戦略を検討 仕入原価の高騰に対しては、価格改定の推進などにより利益へのマイナス影響を低減
- ・ リサイクル商品のプラスチック削減量などを数値化してサステナブル商品として提案 SDGsに関心の高い企業による採用が増加
- ・ 営業活動の効率化に向けて、科学的アプローチによるデータ分析を継続して推進
- ・ 調達先情報の共有や、新たな取扱い商品の探索、商品勉強会など、グループ全体での活動を継続

半導体不足や新型コロナウイルス感染症による海外のロックダウンにより、IT関連商品の供給に対する制約が継続しているものの、年度末・年度始めの需要期に、設定やサポートなどを含む案件に注力し利益に貢献



※ 2022年8月期よりセグメントを新設したため、2021年8月期の数値は記載していません  
 ※ セグメントに帰属しない全社費用(主に一般管理費、393百万円)は、セグメントに配賦していません

## 重点施策とその取り組み

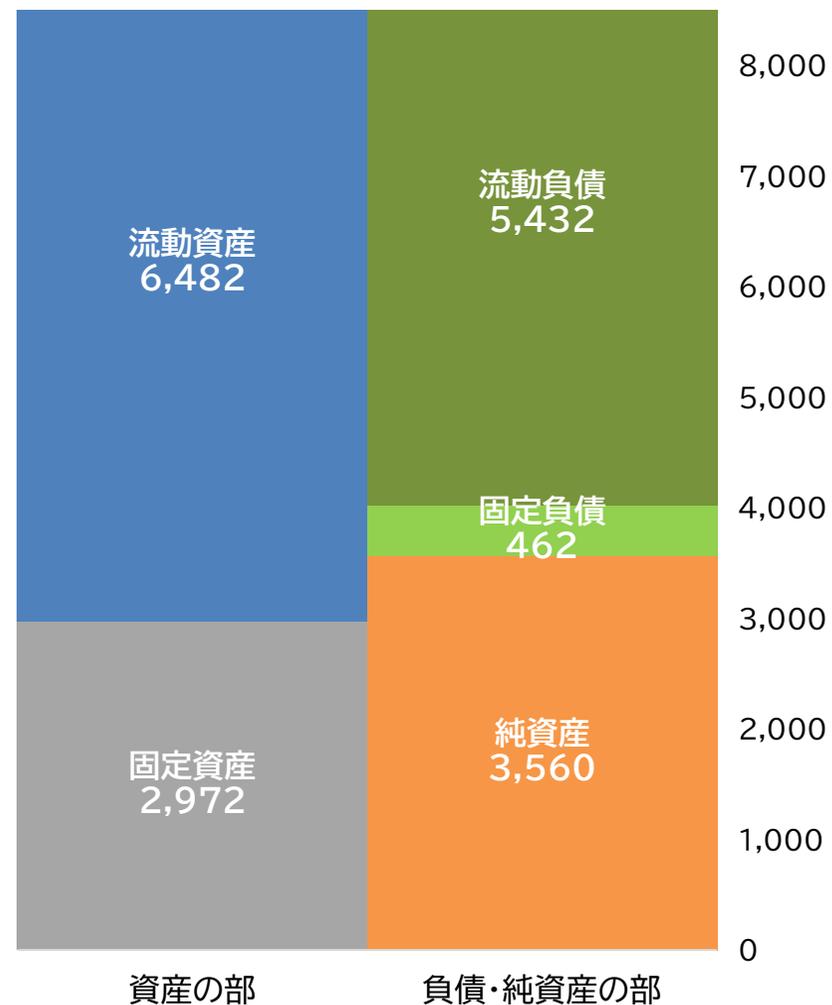
- ・供給の制約に対しては、仕入先と調整を継続 代替品の提案も検討し、継続して機会損失の防止に努める
- ・設定やサポートなどの付加価値の提供を強化するため、営業活動、人材育成、ナレッジ蓄積面で、グループ連携を活発化
- ・Wi-Fi環境構築、オフィス家具などオフィス環境をトータルで提案する営業活動や、セキュリティ対策の提案を推進
- ・デジタルマーケティング技術に強みを持つ「イコリス」と資本提携を実施

## 貸借対照表

(百万円)

	2021年8月期	2022年8月期 第3四半期	増減額
<b>流動資産</b>	<b>5,664</b>	<b>6,482</b>	<b>818</b>
現金及び預金	2,648	2,508	▲140
受取手形及び売掛金	2,444	3,128	684
商品・その他の資産	572	846	274
<b>固定資産</b>	<b>2,782</b>	<b>2,972</b>	<b>190</b>
有形固定資産	1,671	1,645	▲26
無形固定資産	96	336	239
投資その他の資産	1,013	990	▲23
<b>資産合計</b>	<b>8,446</b>	<b>9,454</b>	<b>1,008</b>
<b>負債合計</b>	<b>5,041</b>	<b>5,894</b>	<b>853</b>
流動負債	4,566	5,432	865
固定負債	474	462	▲12
<b>純資産合計</b>	<b>3,405</b>	<b>3,560</b>	<b>154</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>8,446</b>	<b>9,454</b>	<b>1,008</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>40.3%</b>	<b>37.7%</b>	<b>▲2.6pt</b>

(百万円)



## 2 參考資料

---

発表日	リリース内容
2022/3/31	デジタルマーケティング技術に強みを持つイコリスと資本提携(全株式取得による子会社化)同時に、ケイティケイ内に専門部署を新設
2022/4/11	名古屋証券取引所メイン市場上場承認に関するお知らせ
2022/4/18	名古屋証券取引所メイン市場上場のお知らせ

## ◆メディア掲載情報

[2022年4月19日中日新聞「ケイティケイ 名証新規上場」](#)

[2022年4月19日中部経済新聞「名証メイン市場に上場」](#)

[2022年5月2日中部経済新聞「EC強化で新たな販路獲得へ」](#)

▶ <https://www.ktk.gr.jp/news/20835>

## ◆SDGsポータルサイト「スペースシップアース」

当社のSDGs達成に向けた取り組みについて、エレビスタ株式会社が運営するSDGsポータルサイト「スペースシップアース」にインタビュー記事が掲載されました



時代に先駆けてトナーカートリッジのリユース・リサイクルを促進！  
限りある資源を循環させてオフィスから未来を変える

▶ <https://spaceshipearth.jp/ktk/>

## ◆イコリスと資本提携 & デジタルマーケティング本部新設

デジタルマーケティング技術に強みを持つ株式会社イコリスをグループ会社(子会社)として迎えると同時に、「デジタルマーケティング本部」を新設



### ミッション1. 自社ドメインを集客に活用し EC 事業を拡大

当社グループが持つ自社ドメインのポテンシャルを、デジタルマーケティング技術により集客力に繋げ、イコリスを核とした EC 事業を拡大する

### ミッション2. コンテンツマーケティングを利用したインバウンド営業の導入

営業社員による従来型のアウトバウンド営業に、新たなインバウンド営業を融合し、販売チャネル・営業手法を多様化する

### ミッション3. 顧客のビジネス支援

ネットビジネスのアルゴリズム分析とデジタルマーケティングの技術をもって、当社グループの顧客が営むビジネスの DX 推進を支援(EC事業支援等)

## ◆名古屋証券取引所メイン市場に重複上場



個人投資家に向けたIR活動強化を目的として名古屋証券取引所メイン市場へ上場

(東京証券取引所スタンダード市場との重複上場)

## 7/19『名証IRセミナー オンライン』を開催！

2022年7月19日(火) 18:30~19:10

お申込み方法

名証イベント

検索

名証ホームページまたは右QRコードから事前にお申込みができます



商号	ケイティケイ株式会社(ktk INC.)	
設立	1971年6月29日	
資本金	2億9,467万円	
代表取締役	青山 英生	
従業員数	178名	
拠点	営業拠点 20拠点 / 生産拠点 2拠点 物流拠点 2拠点	
事業内容	リサイクルトナー等のプリンター消耗品の製造・販売 OA機器に使用する消耗品、文具事務用品等の販売 インターネット等の通信販売を利用した商品等の販売 DX推進のITソリューション商品の販売	

## ■自社生産のリサイクル商品

主力のリサイクルトナーは、品質管理を徹底した長野県駒ヶ根市の自社工場で生産



## ■WEB発注システム

### 【企業向け】

約40,000点のアイテムを取り揃えた独自のWEB発注システム

お客様専用カスタマイズも可能



約600,000点の豊富な商品を掲載する、ITソリューション専門のBtoB通販サイト



### 【個人・SOHO向け】

コンビニ決済、カード決済にも対応した、リサイクル商品のBtoC通販サイト

**Repack ★ store**

## ■拠点情報

【生産拠点】 ●  
駒ヶ根工場・春日井工場  
【物流拠点】 ●  
駒ヶ根物流・小牧物流

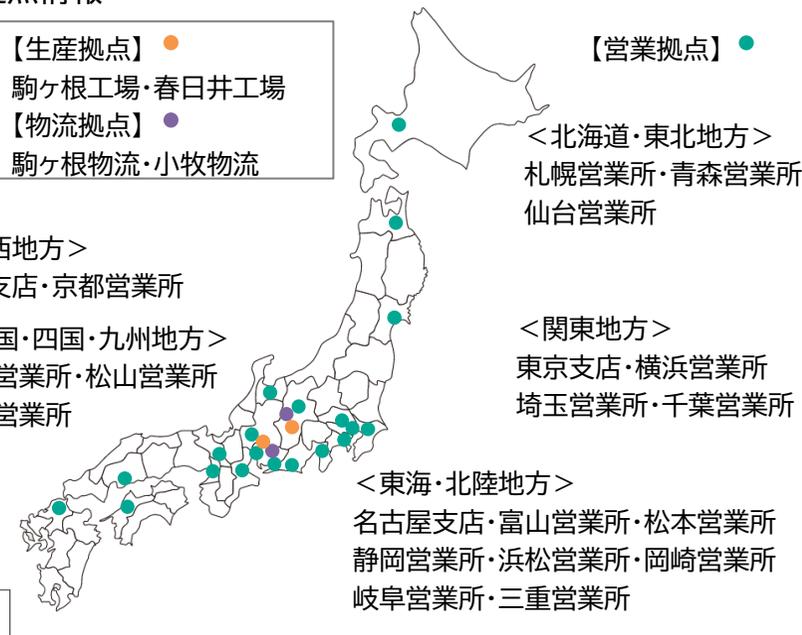
【営業拠点】 ●

<関西地方>  
大阪支店・京都営業所

<中国・四国・九州地方>  
広島営業所・松山営業所  
福岡営業所

<関東地方>  
東京支店・横浜営業所  
埼玉営業所・千葉営業所

<東海・北陸地方>  
名古屋支店・富山営業所・松本営業所  
静岡営業所・浜松営業所・岡崎営業所  
岐阜営業所・三重営業所



## 株式会社青雲クラウン



拠 点	営業拠点 5拠点(名古屋/岐阜/津/豊橋/長野)
事業内容	文具卸売/オフィス環境/店舗開発
従業員数	74名

オフィス用品の総合商社として、調達から物流までのサプライチェーンを構築しオフィス環境を総合的にサポート  
店舗開発事業として文具専門店のプロデュースも実施

## 株式会社キタブツ中部



拠 点	物流拠点 1拠点(小牧)
事業内容	ロジスティック事業/倉庫業
従業員数	5名

物流を一元管理することで、コスト削減や効率化を実現しお客様のニーズに対応  
オフィス用品を中心に33,000アイテムを常時管理保管

## 株式会社イコリス



拠 点	営業拠点 1拠点(名古屋)
事業内容	デジタルマーケティング/EC事業
従業員数	4名

ネットビジネスのアルゴリズム解析のノウハウを生かしたWEB広告、デジタルマーケティング、EC運営支援、サプリメントなどを取り扱うEC事業

## SBMソリューション株式会社



拠 点	営業拠点 2拠点(名古屋/岐阜)
事業内容	OA機器販売/ITソリューション
従業員数	29名

最適なドキュメントソリューションの提案をはじめ、PCやセキュリティ機器等の情報通信システム・ネットワークの構築、運用、保守サポートを提供

## 株式会社エス・アンド・エス



拠 点	営業拠点 1拠点(瀬戸)
事業内容	OA機器販売/ITソリューション
従業員数	8名

愛知県瀬戸市を中心に、複合機をはじめとしたドキュメントソリューション、PCやセキュリティ機器など、オフィスに必要なIT機器を提供

## ■ 経営理念

“お客様の発展をトータルでサポートし、お客様にお喜びいただき、社会に貢献する”

## ■ 長期ビジョン

# Change the office mirai



社会を変える	お客様のオフィスを変える	自分たちが変わる
リユース・リサイクルが当たり前のミライを目指し、SDGs・循環型社会に貢献します	お客様にDXソリューションを提供し、中長期的な信頼関係を築きながら、お客様のミライを変えていきます	社員が価値を発揮できるよう、人材投資を継続的に行い、自分たちのミライを変えていきます

## ■ サステナビリティ基本方針

「ケイティケイは、事業活動と経営戦略の中心にSDGsの理念を据えて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります」

### 環境貢献

- ・リユース・リサイクル  
再生可能エネルギーの利用  
CO2削減  
ゼロエミッションの実現
- ・顧客のSDGs支援
- ・新しい生活様式の提案

### DX

- ・中小企業のDX支援
- ・自社の生産性向上  
顧客への付加価値提供
- ・DX分野の他企業との協業

### 人材育成 ダイバーシティ

- ・成長に向けたリスクリング
- ・経営人材の育成
- ・女性活躍促進
- ・ワークライフバランス
- ・障がい者雇用

### 経営基盤強化

- ・成長を支える組織づくり
- ・健全な財務体質の維持
- ・新市場、CGコードを見据えたガバナンス体制の強化





## Environment(環境)

- ・リユース・リサイクルビジネスを通じた顧客のSDGs支援
- ・再生可能エネルギー利用によるCO2削減や、ゼロエミッションの実現
- ・感染予防や環境負荷軽減に資する商品販売を通じた新たな価値の提案



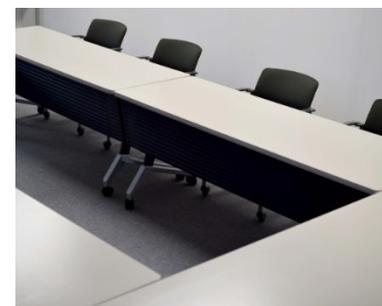
## Social(社会)

- ・成長に向けたリスキリング
- ・経営人材をはじめとした次世代育成
- ・女性の活躍促進
- ・ワークライフバランス、健康経営
- ・障がい者雇用



## Governance(企業統治)

- ・成長を支える組織体制の整備
- ・健全な財務体質の維持・向上
- ・コーポレートガバナンスの高度化

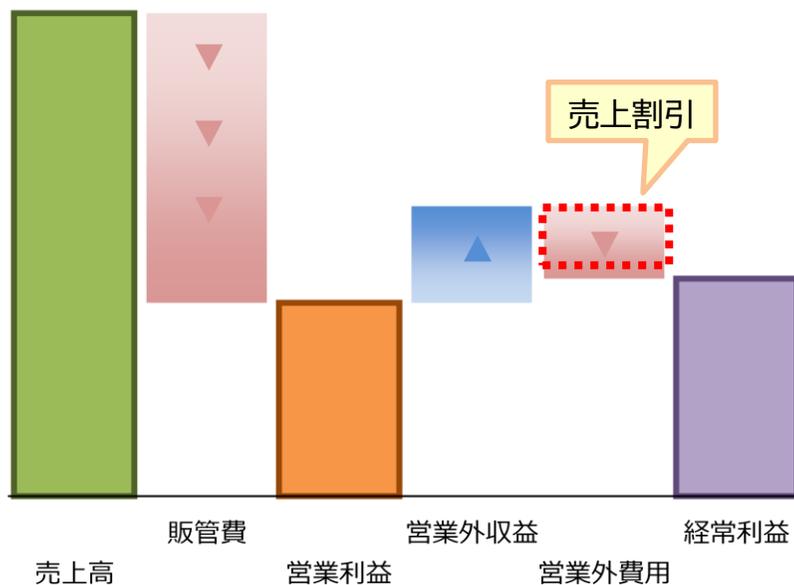


2022年8月期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」が適用  
売上割引を伴う一部取引について売上高の計上方法を変更

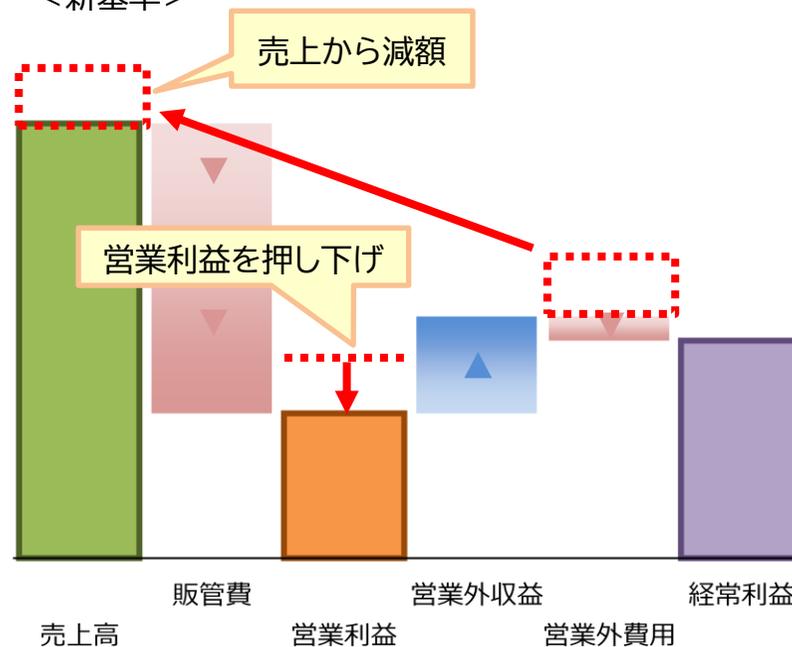
## 【売上割引】

主に連結子会社における顧客との一部契約で、一定期間の取引額に対して行う売上割引のこと  
従来会計基準においては、営業外費用として処理していたが、新会計基準では、売上高より減額する  
処理に変更

<旧基準>



<新基準>



## 本資料に関するご注意

本資料には、ケイティケイ株式会社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づく見込みです。

また、多様なリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これらに限られません）を含んでいます。そのため、当社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なる可能性がありますので、ご承知おき下さい。この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

## 本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

お問い合わせ先	ケイティケイ株式会社 経営企画部経営企画課
所在地	愛知県名古屋市東区泉2-3-3
電話	052-934-2266
メールアドレス	ir@ktk.gr.jp
HP	<a href="https://www.ktk.gr.jp">https://www.ktk.gr.jp</a>
Twitter 	@ktk_ir





見やすく読み間違えにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を使用しています

---